

第1回久留米市まち・ひと・しごと創生会議分科会
各委員からのご意見への対応について

参考資料③

(1) 安定した雇用を創出する

| No. | 意見者 | 意見の概要 | 対応 |
|-----|-----------------------------|---|--|
| 1 | 久留米商 工会議所 穴見 専務 理事 | ・用地の問題などを考えると、ITや医療に関する開発型の企業を誘致したらよいのではないかと考える。また、誘致の際には、子どもの教育が一番の問題であるが、教育機関の充実という久留米市の強みがある。さらに、小児医療や救急体制についても全国有数の強みがあり、それらの強みをアピールして企業を誘致すればよいと考える。 | ・教育機関の充実や小児医療、救急体制などの強みを活かして、暫定版に掲げております「企業誘致推進事業」や「新産業団地整備事業」を推進し、医療、バイオ、農業など久留米市の強みを活かした企業誘致を進めてまいります。 |
| 2 | 久留米商 工会議所 穴見 専務 理事 | ・久留米市の強みであるバイオ産業、食品製造業、輸送用機械、自動車産業などに地元企業が参入するような仕組みづくりをお願いしたい。 | ・経済雇用分科会で検討しております「自動車関連産業参入促進事業」、「新産業・新技術支援事業」に反映させております。 |
| 3 | 久留米商 工会議所 穴見 専務 理事 | ・久留米市は、10万人あたりの医師数が全国トップという医療都市であり、癌センターなどの医療施設が充実しているため、癌撲滅先進都市というような切り口もあるのではないかと考える。 | ・経済雇用分科会で検討しております「医療の集積を活かす高度メディカルシティづくり」に反映させております。 |
| 4 | 久留米商 工会議所 穴見 専務 理事 | ・大都市への人口流出の抑制のためには、転出超過となっている若者が地元で働けるようにすることが重要である。そのため、県内雇用の8割を占める中小企業を活性化することが必要であるため、久留米市内の中小企業の競争力を高める政策をお願いしたい。 | ・経済雇用分科会で検討しております「地場企業の成長・発展」における商工団体、金融機関、産業支援機関等と連携した地域での支援に反映させております。 |
| 5 | 久留米商 工会議所 穴見 専務 理事 | ・雇用に関しては、創業の仕組みづくりや創業支援に力をいれていただきたい。 | ・経済雇用分科会で検討しております「創業活性化促進」における商工団体や金融機関と連携した支援に反映させておりますので、連携をお願いいたします。 |
| 6 | 久留米市 農業協同 組合 森光 専務 | ・いろいろなお知恵をいただきながら6次産業化を進め、久留米市のみならず日本、国外で売れるようなものにしていくと考える。 | ・経済雇用分科会において検討しております「地域企業成長支援」、「食と農の連携強化」に反映させておりますので、連携をお願いいたします。 |
| 7 | 久留米市 農業協同 組合 森光 専務 | ・久留米市は医療環境が充実しており、それを活かして地域の発展につなげていただきたい。 | ・経済雇用分科会で検討しております「医療の集積を活かす高度メディカルシティづくり」に反映しております。 |
| 8 | 久留米大 学 有馬 理事 | ・アグリバイオとしての6次産業化において、久留米大学と研究機関と市の関係を密にしていきたいと考えている。 | ・経済雇用分科会において検討しております「食と農の連携強化」において、関係機関による連携体制の構築に取り組み、協議を進めてまいりますので、連携をお願いいたします。 |
| 9 | 久留米大 学 有馬 理事 | ・久留米大学には久留米大学病院があるので、久留米市ががん治療の拠点化を推進するのであれば、その中で大学の病院の役割について、市と一緒に考えていく必要があると考える。 | ・経済雇用分科会で検討しております「医療の集積を活かす高度メディカルシティづくり」に反映しておりますので、連携をお願いいたします。 |

| | | | |
|----|-------------------------|---|--|
| 10 | 久留米大学 有馬 理事 | <ul style="list-style-type: none"> ・大学と商工会議所との連携により学生と企業のマッチングを行い、また、地場企業が少しでも安定した雇用創出に取り組むことで、学生の地元就職が進み、若者が久留米市に定着していくと考える。 ・長期インターンシップなどについて研究・検討を進めることが必要である。 ・市内大学等と市及び産業界の緊密な連携が肝要であると考える。 | <ul style="list-style-type: none"> ・経済雇用分科会で設置を検討しております産官学金労などで構成する地元就職促進協議会において協議を進めてまいります。 |
| 11 | 久留米信愛女学院短期大学 山下 学科長 | <ul style="list-style-type: none"> ・農産物生産高が多く、中央卸売市場があるという久留米市の特性を活かし、市民が、久留米産農産物を筆頭に、安全・安心な「食」（農産・水産物、加工品、手作り惣菜等）を身近な小売店で購入できるシステムを構築することが必要である。それが「安定した雇用の創出」や、「安心な暮らしを守る」ことにもつながる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・暫定版に掲げております「久留米産農産物の販売力強化事業」において地産地消推進店登録制度などに取り組んでおりますので、参考にさせていただきます。 |
| 12 | 連合福岡北筑後地域協議会 伊藤 事務局長 | <ul style="list-style-type: none"> ・新卒者の地元の就職において、就職希望者と企業の意向がなかなかマッチしていないと言われており、人材バンク等も活用していく必要がある。 | <ul style="list-style-type: none"> ・経済雇用分科会で設置を検討しております産官学金労などで構成する地元就職促進協議会において協議を進めてまいります。 |
| 13 | 連合福岡北筑後地域協議会 伊藤 事務局長 | <ul style="list-style-type: none"> ・新卒者の大都市圏への流出の要因としては、久留米市では大都市圏に比べて賃金が安いということがある。企業が安定的に利益を計上していかなければ、労働者の賃金水準や労働条件は向上しないため、地場企業の活性化が必要である。また、労働者ががやりがいを持つことも必要である。 | <ul style="list-style-type: none"> ・経済雇用分科会で検討しております「地場企業の成長・発展」、「魅力ある雇用環境づくり」の取り組みの参考にさせていただきます。 |
| 14 | 連合福岡北筑後地域協議会 伊藤 事務局長 | <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業においては、経営者も労働者も労働法制を理解していないことからトラブルが生じることが多いので、若年者を対象とした労働法制の学習会などの取り組みをお願いしたい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・県により労働法制に関するセミナーが開催されており、久留米市も高校生・大学生などへの労働ハンドブックの配布などを行っておりますが、今後の取り組みの参考にさせていただきます。 |
| 15 | 西日本エリートスタッフ能塚 業務部長 | <ul style="list-style-type: none"> ・久留米市内、福岡県内での就職を希望する地元志向の若者が増えているが、一方で、足が外に向かず、わざわざ会社説明会にはいかない若者がいるという現実もある。地元企業の雇用条件と若者の希望条件を効率的にマッチさせるためには、インターネット上で、興味がある企業データにアクセスできる仕組みがあればよいのではないか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・経済雇用分科会で設置を検討しております産官学金労などで構成する地元就職促進協議会において協議を進めてまいります。 |
| 16 | 西日本エリートスタッフ能塚 業務部長 | <ul style="list-style-type: none"> ・地場企業が大手に対抗できるような採用活動の推進、インターネットを経由した求人企業の情報発信の仕組み作り、体験雇用の推進や就職支援セミナーの定期的な開催などが必要ではないか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・経済雇用分科会で設置を検討しております産官学金労などで構成する地元就職促進協議会において協議を進めてまいります。 |

(2) 久留米市への新しい人の流れをつくる

| No. | 意見者 | 意見の概要 | 対応 |
|-----|-----|-------|----|
|-----|-----|-------|----|

| | | | |
|----|-----------------------------|---|---|
| 17 | 久留米商 工会議所 穴見 専務 理事 | <ul style="list-style-type: none"> ・観光産業を政策として強く打ち出していきたい。久留米単独だけでは観光が成り立たないので、各地域が連携しながら、取り組んでいただきたい。MICEを誘致するインフラ整備を考えていただきたい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・定住自立圏域で連携した観光商品づくりなどに取り組んでおります。今後も、暫定版に掲げる「圏域の経済成長の促進」の取り組みの中で、戦略的なMICE誘致と観光政策の推進に取り組んでまいります。 |
| 18 | 久留米大 学 有馬 理事 | <ul style="list-style-type: none"> ・学生が住みやすく、学びやすいということを生活環境の面からPR出来れば、久留米の高等教育機関に来てもらえると思う。大学ひとつでは難しいところはあるが、自治体との連携や産官学連携により、新たな交流人口が生まれると考える。 | <ul style="list-style-type: none"> ・充実した生活環境のPRについては、「久留米を知って、感じてもらう」の取り組みの参考とさせていただきます。 ・現在、久留米市では、「人口減少社会を見据えた、地方大学活性化（生き残り）と地域連携」などの視点から、市内学術研究機関の連携組織である「久留米学術研究都市づくり推進協議会」の組織のあり方について検討を行っております。この検討を進めていく中で体制を整理し、新たな交流人口の増加に向けた大学等との連携強化を図ってまいります。 |
| 19 | 久留米商 工会議所 穴見 専務 理事 | <ul style="list-style-type: none"> ・ICTを使って久留米のすばらしさをどう伝えるか。今はスマホの時代であるため、スマホを使っての情報発信を仕掛けていければいいと思う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・「久留米の魅力を移住希望者に届ける」取り組みや、「誘客力を強化する」の取り組みの参考とさせていただきます。 |
| 20 | 久留米市 農業協同 組合 森光 専務 | <ul style="list-style-type: none"> ・久留米には、いいところが沢山あるが、観光面は非常に弱いので、農業の側面も加えていただければ、JAとしてもお手伝いしたい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・暫定版に掲げる「みどりの里地域活性化事業」「インバウンド推進事業」を推進するにあたり、連携した取り組みをお願いします。 |
| 21 | 久留米大 学 有馬 理事 | <ul style="list-style-type: none"> ・大都市圏からの移住の促進や種々の推進という考えだけではなく、新しい人の流れの定義を見直す必要があるのではないか。 大学等へ進学し、学ぶ期間（2年・4年・5年・6年）の人口を他市等からも一定規模確保するための施策を考える必要があるのでは。 人口減少に伴う大学等への志願者減の対策は、個別高等教育機関だけで考えるのではなく、市への人の流れとして捉えて一体となって取組むべきと考える。 すでに、福岡市は取り組みを財政的支援も含み（事務局：福岡市経済観光文化局）実施中である。 ・高等教育コンソーシアム久留米の積極的活用 | <ul style="list-style-type: none"> ・現在、久留米市では、「人口減少社会を見据えた、地方大学活性化（生き残り）と地域連携」などの視点から、市内学術研究機関の連携組織である「久留米学術研究都市づくり推進協議会」の組織のあり方について検討を行っております。この検討を進めていく中で体制を整理し、地元大学への進学促進等について、コンソーシアム久留米や各高等教育機関との連携強化を図ってまいります。 |

| | | | |
|----|------------------------|---|--|
| 22 | 久留米工業大学 大森 教授 | ・ 海外からの観光目的を聞くと、日本らしい町並みを見たいというのが多く、地方の文化に触れたいという意見があるので、久留米の文化、歴史、町並み、風景や景観などを活かした観光を施策にいていただきたい。受け入れ態勢も重要であり、まずは、看板の標記を充実させることが必要だと思う。 | ・「誘客力を強化する」の取り組みに反映しています。また暫定版に掲げる「歴史ルートづくり事業」で取り組んでまいります。 |
| 23 | 西日本エリートスタッフ 能塚 業務部長 | ・ 久留米市の出身の方で、東京方面で有名になった方がいるが、こういった方々に協力をいただいて、ひとつの事業として、久留米でアーティストを育てるというコンテストを開いたらどうかと思う。やはり、若い方をひきつけるには、文化であるとか、音楽であるとか、それらにも着目していいのではないか。 | ・「音楽を通して街を元気付ける」の取り組みに反映しています。 |
| 24 | 西日本エリートスタッフ 能塚 業務部長 | ① ミュージシャンを作り出す定期的な活動としてミュージックフェスティバルの開催（久留米シティプラザ活用） ② アーティスト村を作る（音楽・絵画・写真・焼物・オーガニック）空き商店街活用 ③ 久留米市のプロモーションビデオを制作し、ネット上に公開する | ①「音楽を通じて街を元気づける」の取り組みに反映しています。 ②民間事業者や地域が主体となって空き店舗などの遊休不動産の発掘を行い、地域の再生を図る仕組みとして、「リノベーション・エリアマネジメント推進事業」に反映しています。 ③「久留米の魅力を移住希望者に届ける」の取り組みの中で、移住希望者向けのショートムービーを作成する事業に反映しています。 |

(3) 若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる

| No. | 意見者 | 意見の概要 | 対応 |
|-----|---------------------------|---|--|
| 25 | 聖マリア学院大学 日高 教授 | ・ 子育て支援ネットワーク ～妊娠・出産・育児期に亘る継続的、重層的支援体制の構築～ ①妊娠・出産・育児期における切れ目のないケアネットワークの構築 ②各々の事象（妊娠・出産・育児）毎に区分けした限定的ケアではなく、当事者（お母さん、子供、家族）を中心に、妊娠～育児まで継続的なケアネットワークの構築 ③専門職（医師、看護職、SW等）、医療機関、NPO、地域ボランティアなどを繋げる（制度間の谷間を埋める）システムを構築し、安心・安全の子育てが出来るまちづくり ⇒ セーフコミュニティと連動した充実策 | ・総合計画に掲げる「結婚・出産・子育て妊娠希望支援事業」の推進にあたっての参考とさせていただきます。 |
| 26 | 久留米市校区まちづくり連絡協議会 寺崎 幹事 | ・ 母（夫）子家庭の親の貧困が、子どもの貧困をもたらす、今社会的問題となっているため、子育てしながら生活が成り立ち、かつ安定した多様な就労機会の提供・支援について打ち出すこと。 ⇒「母（夫）子家庭生き生き事業」として、項目を設け戦略強化 | ・総合計画では、貧困の連鎖をとめる総合的な取り組みを進めることとしており、本年度、県が策定予定の「子どもの貧困対策計画」を踏まえ、検討していくこととしております。その参考とさせていただきます。 |

| | | | |
|----|--|---|---|
| 27 | 久留米市 校区まちづくり 連絡協議会 寺崎 幹事 | <ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導サポーターについて <p>現在、平成27年度市教育委員会指導方針は、「生徒指導サポーターを全小学校に配置する。」であったと記憶する。ただし、その分だけの予算化がなされていない。これが事実ならば、なおさら「全校配置」を改めて打ち出す必要がある。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・暫定版において、生徒指導サポーター及び校内適応指導教室は、[不登校対策総合推進事業]として掲げており、その推進にあたっての参考とさせていただきます。 |
| 28 | 久留米男女 共同参画推進 ネットワーク 永延 事務 局長 | <ul style="list-style-type: none"> ・若い世代の結婚、妊娠、出産、子育てとあるが、意見を聞くと、その前に雇用を加えてほしいとの意見があった。女性の労働力率と合計特殊出生率は、日本では相関関係があり、働いている女の人のほうがたくさん子どもを産んでいるという結果がある。そういう結果をふまえて、若い世代に雇用、結婚、妊娠、出産、子育てを続けていくということを、どの場面でも言っていけたらと考えている。 ・雇用を安定させて、ちゃんと生活を保障しないといけないと思う。少なくとも、行政としてはそこを頭においてほしい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・安定した雇用の創出は、地方創生の重要な要素であるため、「若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる」とは別の単独の基本目標として「安定した雇用を創出する」ことを掲げ、取り組みを推進していくこととしております。 ・また、ご意見につきましては、暫定版に掲げる、若年者の雇用安定を目的とした「若年者雇用安定促進事業」を推進する中で参考とさせていただきます。 |
| 29 | 久留米男女 共同参画推進 ネットワーク 永延 事務 局長 | <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画への取り組みがあるが、長時間労働とか男性の働き方というのが、全然ふれられていない。男性の長時間労働も見直しをしなければ、ワークライフバランスがとれなくて、女性もなかなか働けなくて、貧困の層に落ちてしまう。また、男女とも非正規雇用で働いている現状がある。派遣労働法の改正も言われているが、そのへんを何とかしなければ、結局、赤ちゃんが生まれない、産む人が少なくなると思う。そのへんに視点をおいて、男性の長時間労働を見直すということを、是非していただきたい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・男性の長時間労働の見直しにつきましては、国が進める「男性の働き方の見直し」と連携して取り組んでいきます。また、久留米市としても、男性の育児休業取得の奨励など検討を進めます。 |
| 30 | 久留米男女 共同参画推進 ネットワーク 永延 事務 局長 | <ul style="list-style-type: none"> ・「若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる」と大きく打ち上げているが、その若い世代の声をもっと丁寧に聞くこと抜きにかなえられるのだろうか心配。年齢を区切ることに抵抗はあるが20～39歳くらいの女性の特別部会は立ち上げられないか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・幅広いご意見を総合戦略に反映させるために、女性や母親の挑戦を応援するサークルであるメリコアなどの外部団体との意見交換も重ねており、女性や若い世代の声の反映に努めています。 |
| 31 | 久留米市 小学校父母 教師会連 合会 西田 母親 副委員長 | <ul style="list-style-type: none"> ・久留米に新しいイメージを持ってもらうことが大切。小学生をお持ちの保護者は学力面に敏感。各小学校・幼稚園での音読教育の強化を中心に、「読書のまち・絵本のまち」となれば必ず近隣地域からの来客が増えるのではないか。 ・久留米にも絵本専門の施設があると、お母さんたちには非常に魅力的で、福岡市内のように、足を運んでくださると思う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせの取り組みなど、教育施策の推進の中で参考とさせていただきます。 |

| | | | |
|----|--|--|---|
| 32 | 久留米市 小学校父 母教師会 連合会 西田 母親 副委員長 | <ul style="list-style-type: none"> ・教育現場では、児童・生徒数に対して教職員の数が少ないように感じる。より充実した教育環境を整えるためにも、教職員の数を増やすと良いのではないか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・少人数授業や学力向上コーディネーター等の市独自の取り組みに対しては、非常勤講師の配置を行っております。一方で、小中学校の学級編成や定数につきましては、福岡県が権限を有しており、（給与負担をしている）県及び国に対しまして、引き続き定数改善の要望を行ってまいります。 |
| 33 | 久留米市 小学校父 母教師会 連合会 西田 母親 副委員長 | <ul style="list-style-type: none"> ・小さなお子さんがいるご家庭の悩みの1つに「ミルク代・紙おむつ代」がある。「ミルク代・紙おむつ代」補助金（またはチケット）を出してはどうか。 ・公園の設備改善（砂場・トイレの管理）（夏になると遊具がととても熱くなり危険）安心・安全・清潔な公園が多いとイメージアップに繋がる。 ・千人規模の学校の近くに大きな公園がない。子どもたちの身体能力面が落ちているので、アスレチックができる場所があるといい。さらには、北野に専門施設があると聞いたがスケボーができる場所があるといいという意見があった。思い切った体がしっかり動かせる場所があるといい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ミルク代及びおむつ代をあわせた助成額を約1万円とした場合、出産後1年間に限定したとしても年間3.6億円を要することとなります。暫定版では、保育園での完全給食等を開始することとしており、財政的に慎重な検討が必要なものと考えます。 ・公園設備の改善等につきましては、公共施設の総合的・計画的な管理を進めていくなかで参考とさせていただきます。 ・久留米市新総合計画第3次基本計画掲載の主要事業「身近な公園等整備事業」を進めていくなかで検討してまいります。 |
| 34 | 西日本エ リートスタッ フ能塚 業務 部長 | <ul style="list-style-type: none"> ・働く女性という観点から見たときに、久留米市は働く女性を応援しようとする施策をたくさんもっている。しかし、発信力が少し弱いと思う。子育て応援宣言というのがあがるが、久留米市も子育て応援宣言をしている企業は増えている。それを久留米市のホームページから閲覧できるが、ホームページに載せているだけではなく、もっと、働く人に向けて発信をしていったらいいと思う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・効果的な情報発信のあり方については、ご意見を参考にして事業推進の中で検討してまいります。 |
| 35 | 西日本エ リートスタッ フ能塚 業務 部長 | <ul style="list-style-type: none"> ・1人親家庭の母親の経済的な貧困の問題が実際にある。働くお母さんを支える仕組みは色々ありファミリーサポートセンター事業や、待機児童の問題など、久留米市は積極的に取り組んでいる。一人親世帯の母親は、経済的に困難な問題を抱えていると肌で感じている。生活相談をしていると、ひとり親家庭事業というのが、あまり認知されていないと感じることがある。 | <ul style="list-style-type: none"> ・効果的な情報発信のあり方については、ご意見を参考にして事業推進の中で検討してまいります。 |
| 36 | 西日本エ リートスタッ フ能塚 業務 部長 | <ul style="list-style-type: none"> ・働く女性の意識改革は、女性だけではなく、男性の意識も改革しなければいけないと思う。若い女性の方が、就職を考えると、一度結婚、出産をしたときに、また、職場にカムバックできるような、キャリア形成を見据えた就職活動が大事だと思う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・男性の育児休業取得の奨励や、女性の就労環境の整備など、「ワークライフバランスを応援する」取り組みの中で参考とさせていただきます。 |

| | | | |
|----|------------------------|--|--|
| 37 | 西日本エリートスタッフ 能塚 業務部長 | <p>① 育休・産休取得者に、実体験の例を発信して頂く場を設ける。『この街久留米で子育てしよう』情報誌の発信。</p> <p>② 結婚、妊娠、出産、職場復帰について相談できる総合窓口の設置（くるるん、ファミサポ等の拡充）</p> <p>③ キャリアコンサルタントによる就職支援サービス（再チャレンジ）</p> <p>・特に女性は、学校卒業後就職してからもどんどん環境が変わって行くが、昔のように友人や家族や先輩後輩等の相談する相手がいない（コミュニティが作られていない）ので相談できる人を求めている人は多い。</p> | <p>①経済雇用分科会で検討している「女性（有資格者）のリワーク支援」に反映しております。</p> <p>②昨年度策定しました「くるめ子どもの笑顔プラン」では、子育て交流プラザくるるんや地域子育て支援センターにおいて、妊娠中の方や子育て中の保護者が、身近な場所で相談・助言や支援を受けられる体制を整備することとしており、その推進にあたっての参考とさせていただきます。</p> <p>③暫定版に掲げる「若年者雇用安定促進事業」や「女性の就労環境整備事業」で取り組んでまいります。</p> |
| 38 | (株) アルカディア 生嶋 総務部長 | <p>・社内での結婚、妊娠、出産、子育てに対する理解をいかに広めるかが課題であり、また休暇を取る本人も周りに対して、協力のお願いと感謝の念をもち、互いに理解し合う事の努力が必要になると思う。</p> | <p>・男性の育児休業取得の奨励やこどもの職場参観などの「ワークライフバランスを応援する」取り組みや、「結婚への意識を高め出会いの場をつくる取り組み」の中で参考とさせていただきます。</p> |

(4) 安心な暮らしを守る

| No. | 意見者 | 意見の概要 | 対応 |
|-----|-------------------|---|---|
| 39 | 聖マリア学院大学 日高 教授 | <p>・超高齢社会を考えると、2025年に65・70・80歳に達する人たちに今、何をすべきかを考えていかなければならない。自分の身の回りのことは、自分でできるようにすることが大切であり、筋力アップや運動の文化を定着させるのもいいと思う。</p> <p>・働く世代の健康マネジメント ～介護予防のための筋力・基礎体力アップへの取り組み～</p> <p>①老年人口急増期へ向けて、老々介護への備え、健康寿命の延伸</p> <p>②介護する側・される側（現在の中高年世代が10～20年後を見据えて）の基礎体力アップ</p> <p>③健康マネジメントの視点からの施設整備</p> <p>④若年層におけるアスリートやトレーナーの育成</p> | <p>・健康寿命の延伸、高齢化に備えた筋力向上、アスリートの育成等は重要な課題であり、介護予防事業や暫定版に掲げる「健康のびのびプロジェクト事業」、久留米市新総合計画第3次基本計画に掲げる主要事業「生涯スポーツ振興事業」など、関係する施策を推進していくにあたっての効果的な取り組みのあり方について、様々な関係団体と連携しながら今後検討を進めてまいります。</p> |
| 40 | 久留米工業大学 大森 教授 | <p>・コンパクトシティを推進するうえでも公共交通の整備が必要だと思う。JR鹿児島本線の久留米駅と荒木駅の間にもう一つ駅が出来ると大変便利になる。</p> | <p>・この5年間では、まずは市東部の地域振興に資する久大本線の新駅設置を最優先に、取り組みを進めてまいります。</p> <p>・なお、ご意見につきましては、暫定版に掲げる公共交通利用促進事業を進めていくなかで参考とさせていただきます。</p> |

| | | | |
|----|-------------------------------|---|---|
| 41 | 久留米工業大学 大森 教授 | <ul style="list-style-type: none"> ・3号線の整備をしないと、交通渋滞が緩和されない。コンパクトシティの実現にならないし経済的にもマイナスではないかと思う。中心市街地へバスに乗って買い物に行く際の障害にもなっている。バスの路線の見直しが求められる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・3号線の機能強化については、暫定版に掲げる幹線道路整備事業を進めていなかで検討してまいります。 ・バス路線の見直しについても、暫定版に掲げる公共交通利用促進事業を進めていなかで検討してまいります。 |
| 42 | 久留米市 校区まちづくり連絡協議会 寺崎 幹事 | <ul style="list-style-type: none"> ・人口ビジョンに記載している目指すべき将来の方向において、超高齢社会に対する視点が抜け落ちているのではないか。効率的という表現ではなく、高齢者が元気で地域の人々が支え合う社会が必要ではないか。 ・高齢化率、少子化などについてインパクトある表現等を加えてはどうか。 ・上記の視点を踏まえた具体的な提案として <p>①高齢者に必要なのは、「居場所と元気」づくりと住民みんなが家族のような気持ちで気配り・目配り・支えあう、地域ぐるみの「見守りのネットワーク」づくり。</p> <p>②60歳前後からは、新たなステージへのデビューであり、未開の潜在能力（人）の新たなデビューチャンスを各所に設けること。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・人口ビジョンの視点や表現等に対するご意見につきましては、人口ビジョン（確定版）を作成する上での参考とさせていただきます。 ・また、具体的提案につきましては、 <p>①民生委員を取り巻く環境は変化してきており、求められる役割も増加してきております。福祉協力員や福祉委員と呼ばれる「民生委員」を補佐する仕組みにつきましては、関係する団体と情報共有してまいります。</p> <p>②総合計画に掲げる「地域活動づくりの活性化」の推進にあたっての参考とさせていただきます。</p> |
| 43 | 久留米市 校区まちづくり連絡協議会 寺崎 幹事 | <p>③子どもたちは、これから高齢者の中で育っていくことになる。だったら、児童期から、年寄りや自然に触れあい、理解する場をつくり、思いやりや他人との交わり・つながりが自然にできるための場づくり・環境づくりが必要である。</p> <p>④児童が幼児に触れることにより、人の生き方・命の大切さを学び・実感し成長していくための環境づくりを事業化すること。</p> | <p>③子ども民生委員に関しましては、他者との社会性、関係性を認識し、他者との交わり・つながりが自然にできる子ども達を育てていくことは重要であり、関係する団体と情報共有してまいります。</p> <p>④赤ちゃんとのふれあい体験を行うことを目的とした「子育てサロン」の実施拡大については検討を行っており、今後の推進の参考とさせていただきます。</p> |
| 44 | 久留米市 校区まちづくり連絡協議会 寺崎 幹事 | <ul style="list-style-type: none"> ・自主防災ネットワークについて（20ページ②または21ページ⑥防災対策強化事業に追加） <p>21ページ⑥であれば、「校区および自治会・自治区での自主防災組織の結成。防災士など地域防災リーダーの育成」に修正。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ご意見の趣旨を踏まえ、文言修正等の反映を行います。 |

| | | | |
|----|--|--|--|
| 45 | 久留米市 小学校父 母教師会 連合会 西田 母親 副委員長 | ・小・中学生の、特に下校時、警察のパトロールも強化して欲しい。(各自治体にて「見守り隊」が子どもたちの登下校を指導してくださっているが、年々、高齢化しているという課題もある。) | ・地域で活動されている団体と行政、警察との情報の共有化や連携を深め、子どもの安全・安心の確保のための取り組みを進めるにあたっての参考とさせていただきます。 |
| 46 | 西日本エ リートスタッフ 能塚 業務 部長 | ① 徘徊SOSパトロール隊のチーム結成（市民参加型） ② 道の駅くるめの宅配サービス ③ 210号線バイパス、上津バイパス等へのバス増便 | ①徘徊高齢者の捜索については、ガソリンスタンド、タクシー協会やバス等の事業者と、自治会や消防団、民生委員等の地域団体等により、久留米市SOSネットワーク協議会を組織しており、徘徊者に関する捜索依頼があった場合、防災メールを活用して一斉に捜索を開始する体制を整えております。また、市民の皆様が講師となり、学校や地域での認知症に関する研修会も実施していただいております。更なる機能の強化にあたっての参考とさせていただきます。 ②現在、久留米南部商工会・東部商工会、田主丸町商工会を中心に、勉強会を立ち上げ、宅配事業参加店舗の募集、ガイドブックの作成等について検討を進めております。 ③暫定版に掲げる公共交通利用促進事業を進めていくなかで検討させていただきます。 |
| 47 | 西日本エ リートスタッフ 能塚 業務 部長 | ④ スクールカウンセラーの増員 | ④子ども達の悩みや不安を受けとめるスクールカウンセラーの役割は重要であり、全小中学校において継続した相談を行っております。一方で、家庭・学校・地域環境の改善に向けた総合相談を行うスクールソーシャルワーカーの重要性も増しており、本年度策定中の次期教育改革プランの参考とさせていただきます。 |
| 48 | 久留米信 愛女学院 短期大学 山下 学科 長 | 生まれてから亡くなるまで、どのライフステージの人も健康になる、また、病気も一次予防ができて、医療体制が整っているため、その強みを活かして欲しい。 | ・「健康で安心して暮らせる環境をつくる」における市民の健康寿命延伸に向けた取り組みの参考とさせていただきます。 |

(5) 広域拠点の役割を果たす

| No. | 意見者 | 意見の概要 | 対応 |
|-----|------------------------|---|---|
| 49 | 西日本エリートスタッフ 能塚 業務部長 | ① 久留米市シティプラザの活用（近隣地域でも利用できるようにPR） ② 地域医療の拡充（連携した訪問医療等） | ① 暫定版の「久留米広域連携中枢都市圏の形成」において、久留米シティプラザを圏域全体で活用するとしており、活用に向けた取り組みを進めてまいります。 ② 在宅での療養生活に欠かせない、かかりつけ医と訪問看護や薬剤師との連携については、関係者とのネットワーク会議において課題認識等を行っており、総合計画に掲げる「地域医療の確保」の推進にあたっての参考とさせていただきます。 |

(6) その他

| No. | 意見者 | 意見の概要 | 対応 |
|-----|---------------------------|--|--|
| 50 | 久留米大学 有馬 理事 | ・ 地方の大学の特色をどう風にな久留米の中に活かしていくか、魅力あるまちに、魅力ある大学があって、そこに学生が来てくれて、なおかつ、大学卒業後には、魅力あるまちの企業に就職してもらうという、大きな総論的な話になる。それを目指すためには、久留米をもう一度見直していかなければならないと思う。久留米というまちは、どう特色のまちなのか、いわゆる農業都市、30万人都市、ゴム三社という特色をいかしたらどうか。 | ・ 現在、久留米市では「新事業・新産業と雇用を生み出す地域イノベーションの推進」「人口減少社会を見据えた、地方大学活性化（生き残り）と地域連携」の2つの視点から、市内学術研究機関の連携組織である「久留米学術研究都市づくり推進協議会」の組織のあり方について検討を行っており、この検討を進めていく中で体制を整理し、市内大学等の特色を活かしたまちづくりについて、高等教育機関との連携強化を図ってまいります。 |
| 51 | 聖マリア学院大学 日高 教授 | ・ 「久留米市は治安がいいまち」や、「もっと安くておしゃれな住居に住みたい」、「久留米のクラブチームがほしい」などの意見があった。学生の希望について実態調査をした方がいいと思う。 | ・ 大学での講演、講義の機会に、アンケートや学生との意見交換を行い得た情報をまちづくりに反映していきます。 |
| 52 | 久留米市校区まちづくり連絡協議会 寺崎 幹事 | ・ 今後は何ごとにも「地域との共生」が都市繁栄の鍵を握るものと思う。戦略として打ち出したい。 1ページ文章中の表現では「産官学労・地域等」など“地域”を入れる。 | ・ まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進にあたって、地域と協力して推進することは最も重要であると考えております。確定版案の策定にあたって参考とさせていただきます。 |

| | | | |
|----|--------------------------------------|---|---|
| 53 | 久留米市 校区まちづくり 連絡協議会 寺崎 幹事 | <ul style="list-style-type: none"> ・「食育」を打ち出すこと <p>人は自然の中で・自然と共に生きている。だから、戦略の中で、自然や農業に触れることにより理解や共感を。また、生きることの根幹＝「命を育むたべもの」について、支援・事業化を打ち出すこと。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・久留米市新総合計画第3次基本計画に掲げる施策「安心して産み、育てられる環境づくり」や、「職業として選択できる魅力ある農業の実現」における食育の推進の取り組みの参考とさせていただきます。 |
| 54 | 久留米市 校区まちづくり 連絡協議会 寺崎 幹事 | <ul style="list-style-type: none"> ・「環境保全」（＝美しく・安全で豊かな環境）について <p>産業として成り立つ農業の実現には触れているが、環境保全については見当たらない。7ページでは「環境関連産業支援事業」項目があるが、狙いは限定されているようだ。⇒他の箇所で、もっと広い意味での環境保全活動をサポート又は事業化したい。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・久留米市新総合計画第3次基本計画に掲げる施策「豊かな自然環境の保全と共生」の推進にあたっての参考とさせていただきます。 |
| 55 | 久留米市 校区まちづくり 連絡協議会 寺崎 幹事 | <ul style="list-style-type: none"> ・伝統芸能・芸術の推奨支援 <p>衰退し続ける日本の伝統文化・芸能に活性化を目指す具体的支援を打ち出してほしい。我が国の環境・永い暮らしの中で生まれ、育んできた伝統文化や芸術が今、倫理・道徳の衰退と同様の方向をたどっている。悲しいことです。日本が独自の豊かな国（心の豊かさ）である証し＝文化・芸能・芸術。ぜひ、この支援と事業化をしっかりと打ち出してほしい。久留米らしい戦略の重要な一つになるものと思います。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・文化芸術振興基本計画に掲げる「市民の多様な文化芸術活動の支援」の推進にあたっての参考とさせていただきます。 |
| 56 | 久留米男女 共同参画推進 ネットワーク 永延 事務局長 | <ul style="list-style-type: none"> ・KPIの中で人数が設定されているところでは、必ず男女別の集計をしてほしい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・確定版の総合戦略のKPI設定において可能な限り対応してまいります。 |
| 57 | 久留米信 愛女学院 短期大学 山下 学科長 | <ul style="list-style-type: none"> ・地方の中核都市でこれほど教育機関が充実しているところはあまりないのでフル活用していただきたい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・高等教育機関をはじめとした教育機関の充実は久留米市の大きな強みの一つと認識しております。総合戦略の推進にあたっては、この強みを十分に活用してまいります。 |

| | | | |
|-----------|--------------------------------------|--|---|
| <p>58</p> | <p>久留米男女共同参画推進ネットワーク 永延 事務局長</p> | <p>① P12(3)基本的方向 L4「…また、男女が共に仕事と家庭、…」のまたの後に「長時間労働の実態を見直し、女性の労働による社会参画を支援し、男女が共に仕事と家庭、…」と下線部分を挿入</p> <p>② P12(3)L10「…支援する環境づくりを進めます。…」の後に「とくに、生きにくさを抱えているシングルマザーや多様な家族形態を生きる人に対する支援を行います。」と下線部分を追加する。</p> <p>③ P13③L1「…連携を深め、仕事と…」の深めの後に「女性の就労拡大と仕事と…」と下線部分を挿入</p> <p>④ P13 ③L1「…、仕事と子育ての両立や…」の仕事との前に「…男女がともに仕事と子育ての両立や…」と下線部分を挿入</p> <p>⑤P13③L4「周知・啓発等に取り組みます。」の後に、「また、当面非正規雇用でキャリアアップをめざす女性への支援を強めます。」を追加</p> <p>⑥P13③L8に「女性の就業率の拡大と非正規という働き方の見直し」を追加</p> <p>⑦P13 ③L9に「セミナー受講者に対する就労相談などの出口づくり」を追加</p> <p>⑧P13③L7のKPI:5年間の企業訪問件数に若者の就職者数を追加</p> <p>⑨P13③子ども総合相談事業L3「…などを行う、ソーシャルワークができる人材を含めた子ども・子育て支援の相談窓口…」と下線部分を挿入</p> <p>⑩P15⑧L3「…取り組みを進めます。」の後に、「また、特に貧困な状況にある子どもの学力の充実に取り組みます。」と下線部分を追加。</p> <p>P15⑩L3 「…支援や段階的な教室復帰にむけた支援を行います。」の支援やの後に「…その子の希望に沿って段階的な教室復帰にむけた支援を行います。」と下線部分を挿入</p> | <p>・ご意見いただきました表現の追加・修正等につきましては、総合戦略（確定版）を作成していく上での参考とさせていただきます。</p> |
|-----------|--------------------------------------|--|---|